

●奨学金を利用・返済している薬学生・薬剤師の皆様へ

●病院薬剤師としてスキルアップをしたい、大学病院や地域病院のどちらで働くか迷う方へ。

石川県では、県内の病院で働く薬剤師の
「専門資格の習得」のサポートと、
「修学資金返済」の支援をしています！

Recruitment

石川県で活躍する
病院薬剤師を募集！

石川県地域連携薬剤師共育プログラム & 石川県薬剤師修学資金返済支援事業



✔ 9分野・29種類の専門・認定薬剤師の中から、目指したい資格を選択
→6～9年間で大学病院等や地域病院の両方に就業し、キャリアアップ



✔ 在学期間中に借り入れた修学資金の返済を支援（最大240万円）

お問い合わせ先

石川県健康福祉部薬事衛生課

Tel : 076-225-1442 Mail : yakuji@pref.ishikawa.lg.jp

詳細はこちらから▶



病院における薬剤師の仕事内容（例）（薬局で働く薬剤師との違い）

Example 1

病棟業務（薬剤管理指導業務）

- 入院時持参薬の確認と管理
- 病棟回診カンファレンスへの参加
- 患者の服薬・注射状況の把握、投与速度・相互作用、効果、副作用の確認と服薬指導
- 薬物血中濃度の解析、レポート、処方設計、処方提案（TDM業務）といった薬剤師による専門的な業務を行う。

チーム医療への参画 （医療職への連携）

Example 2

周術期管理チーム、術後疼痛管理チーム、精神科※リエゾンチーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策ケアチーム等、多種多様なチームのなかで、薬剤師の目線から患者に寄り添った医療を提供する。（※フランス語で「連携」を意味する）

認定・専門薬剤師
（資格取得）によって、
薬剤師の視点から
専門的な意見が可能に。
医療従事者や患者から、
より信頼が得られ、
薬剤師としてのキャリアが
広がります。

Example 3

外来化学療法 （抗がん剤治療・製剤調製）

がん治療は効果が証明された計画（レジメン）通りに完遂することが大切です。

- 抗がん剤・注射剤の配合変化の確認
- 抗がん剤の適正使用（投薬管理）と品質管理
- 患者への服薬指導と副作用の確認

定期的な 症例検討会での報告

Example 4

患者の症例について、治療記録や処方歴・既往歴、医師、看護師等病棟スタッフからの相談応需によって得られた情報等を活用し、臨床経過を評価する。他者からの意見や情報の共有が、薬剤師の教育・学びとなり、効果的な治療に向けた医療の提供が可能となる。

石川県では、認定・専門薬剤師を取得できるプログラムを提供
新卒でも中途でもサポートが万全のため安心
→石川県で病院薬剤師としてキャリアアップしませんか？



Aさん
(20年目)

地域病院では高齢な患者が多く、多疾患・多科受診による※ポリファーマシーなどの問題が起こりやすく、薬剤師が貢献できることはたくさんあります。医薬品情報専門薬剤師として医薬品の適正使用に関する情報発信をすることで、多職種に薬剤師の職能が伝わり、薬剤師への相談が増えました。（※多剤服用に伴い、健康に害をなす状態のこと）



Bさん
(6年目)

がん患者さんの中には住み慣れた地域で生活を行いながら、がん治療を行いたい方が多くいます。大学病院で培った経験を活かして、支持療法や化学療法の減量など様々な面から、がん治療に貢献することができました。



Cさん
(5年目)

地域病院は規模が小さくなる分、病院全体のスタッフの顔が見えるので職種間の距離が近いと思います。実際にあらゆる領域の疾患に関して相談を受けたことで、勉強になると同時にやりがいを感じました。



Dさん
(3年目)

地域病院は高齢の患者さんが多く、看取りの役割もあります。他職種と共同してじっくり一人の患者に対して薬学的管理をするという点で薬剤師は重要な存在であると思います。薬剤の適正使用に関する情報の入手は、大学病院よりもハードルが高くなっていますが、通常業務に加えて薬剤の適正使用、薬剤情報の提供等で薬剤師が関わることは重要な業務であると感じました。